

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23221006	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	遺伝毒性試験の新機軸－DNA損傷、突然変異、染色体－	研究代表者 (所属・職)	松田 知成（京都大学・工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター・准教授）

【平成26年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究では、①DNAアダクトーム法の実用化、②表現形によらない突然変異検出法の開発、③染色体異常誘発の分子ターゲット検索法の開発など、遺伝毒性物質の新規検出法の確立を目的としている。①に関わる研究計画は順調に進展し相応な成果を上げているが、LC/MS/MSの導入の遅れにより一部計画の目標達成が危惧される。また、②及び③についてはDNAシーケンサーSMRTの不調により当初の計画が遅延している。残余の期間では、これらのサブテーマに人材と研究資源を集中的に投入し、研究の完遂を目指す努力が必要である。本研究の独創性・先導性は②及び③のサブテーマにあることから、研究組織内での意思疎通と連携を一層強化して相乗的な研究の推進を図るなど、研究代表者のリーダーシップ発揮が望まれる。